

我が家のタイムラインを作成しよう

近年、台風などによる記録的な大雨が全国各地で相次ぎ、大規模な水害や土砂災害が発生しています。本県でも、平成27年9月関東・東北豪雨では約4,200人、令和元年東日本台風では約330人の方の避難が間に合わず、「逃げ遅れ」となってしまい、ヘリコプターなどで救助されるといった事態となりました。

こうしたことを防ぐため、平時のうちに、各家庭において逃げ遅れないためにやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」を作成しておきましょう。

○ 作成方法

① 名前を記入しましょう。

② 洪水がおきた時の避難先を記入しましょう。

※避難先は市町村の避難所へ。
または、ハザードマップで色が塗られていない親戚・友人宅などが考えられます。

③ 避難先までの移動手段を記入しましょう。

④ 避難先までのおおよその移動時間を記入しましょう。

⑤ 避難するときに持っていくものを○で囲みましょう。

⑥ 避難するタイミングを決めて○で囲みましょう。

- ・【警戒レベル3】高齢者等避難
一緒に逃げる家族の中に、高齢者など避難に時間がかかる人がいる場合に選択。
- ・【警戒レベル4】避難指示
上記以外の場合に選択。

我が家のタイムライン (① 家)

避難先(避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段	避難先までの移動時間
②	③	④ 分

注意: 大雨・洪水注意報、河川の水位に注意!!

【警戒レベル1】早期注意情報

【警戒レベル2】大雨・洪水注意報

【警戒レベル3】高齢者等避難が宛令

【警戒レベル4】避難指示が宛令

【警戒レベル5】避難発生情報

【使い方】 家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容を確認しながら避難を行いましょう。内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に我が家のタイムラインの確認を含む避難行動開始の訓練を行いましょう。

○ ハザードマップとは

ハザードマップとは、浸水や土砂災害の危険がある地域や災害発生時の避難先(指定避難所など)が示された地図のことで、浸水する可能性があるエリアに色が塗られています。ご自宅の場所が浸水する可能性があるかどうかをあらかじめ確認しておきましょう。

ハザードマップは、お住まいの市町村のホームページで確認するか、市町村の防災担当課へお問い合わせください。



ハザードマップは、以下の二次元コードから確認できます。

